

NPO 京都コミュニティ放送 第 118 回 番組審議会 議事録

開催日時：2018 年 1 月 23 日 (火) 10:30~12:00

会場：イヌイ四条ビル 3 階「flag 四条」

出席委員：福井秀彦 岡本卓也 竹村知紘 中村正

欠席委員：山本時子 ジェフ・バーグラント 竹下清

局側委員：松岡千鶴 松下諒多 (順不同敬称略)

ゲスト：「四富スクウェアラジオ」(毎月第 3 日曜日 12 時から放送 15 分番組)
番組オーナー 坂井禧夫 (よしお) さん

■審議番組 「四富スクエアラジオ」(毎月第 3 日曜日 12 時から放送 15 分番組)
ココロとカラダの健康、暮らしの情報を伝える番組

■番組審議

冒頭、番組オーナー 坂井禧夫さんから番組趣旨の説明があった。

ラジオカフェの番組にゲスト出演し、自分が主催している異業種交流会の話をした。マイクの前で話すことに感動し、2014 年 2 月に番組をスタートした。1 回目の放送は 1 人トークだったが、2 回目以降は 530 人いる自分のグループの会員とトークしている。電波に乗ることは特別なことだと考える。ゲスト候補は 1 年待ちの状態。番組台本は作らず、自作のオープニング、エンディング曲を使っている。

2017 年 10 月放送の番組を全員で聞き、審議に入った。

- ・この回は、たまたま海外に滞在していたゲストと初めてスカイプでトークした。(坂井)
- ・電話なのに音がきれい。驚いた。番組の構成は決まっているのか？
- ・4 つに集約されると思う。(坂井)
「言いたい事は何か」「その人の思い」「壁を乗り越えたエピソード」「これからしたい事」
- ・打ち合わせはするのか？
- ・しない。感動をそのまま伝えたい (坂井)
- ・4 つに絞ったのは最初からか？
- ・これでいけると確信した。ゲストは主宰している食事会で候補者を募っている。(坂井)
- ・坂井さんは豊富な経験の持ち主。ご自身の経験をもっとトークに盛り込んだらいいのではないか。インタビューも上手だが、自分自身ことも軽く 1 分程度、話した方が良い。
- ・自分の事は自分で言わない方が良いと思う。そうすると人が自分の事を話してくれる。
(坂井)
- ・ポッドキャストを利用した方が良いのではないか？
- ・ポッドキャストだと情報が古くなってしまう。音楽も言葉も流れていくもの。(坂井)
- ・毎週放送したら、ゲストの皆さんの待ちも減るのではないか？
- ・細く長く続けたい。皆自分のことを話したがっていると思う。(坂井)

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は 2018 年 1 月 30 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は 2018 年 1 月 30 日からホームページで公開した。